

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和6年度分）

団体名： 城陽市

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり連携推進事業	防災	地域ぐるみの防災力向上事業	自主防災組織の育成等を進めるため、地域防災リーダーの育成や地区防災計画作成に対し、経費の一部を補助するとともに、戸別受信機の配布、避難所誘導看板の更新を実施した。	3,077	1,538	・戸別受信機の配布10件 ・避難場所誘導看板更新5箇所 ・自主防災組織運営補助金10件 ・地域防災計画作成推進補助金2件	成果指標「地域防災リーダー延べ人数R3：51人→R8：127人」に対し、令和6年度に16人増加（計86人）したほか、地域防災計画作成推進補助金を交付したことにより、地域防災力の向上を図ることができた。
2	地域づくり連携推進事業	子育て支援	すくすく・のびのび給食充実事業	子育て環境のさらなる充実を図るため、幼稚園給食の拡充や、子育て世帯の経済的負担の軽減対策を実施した。	22,820	11,410	・公立幼稚園1園にて、給食を週3回提供（うち1回はパン給食） ・学校給食の一部を支援（1食あたり約20円）	成果指標「働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている市民の割合54.5%以上」に対し、給食の拡充により、子どもに対して栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、学校給食の一部を支援することにより子育て世帯の負担軽減を図ることができた。
3	地域づくり連携推進事業	子育て支援	切れ目のないママ・パパ・赤ちゃんサポート事業	妊娠から産後の初期段階における母子に対し、安心して妊娠・出産できるよう切れ目のない各種助成を実施した。	4,702	2,349	・不妊治療等助成金144件 ・妊婦歯科治療42件 ・新生児聴覚検査28件 ・おたふくかぜ予防接種249件	成果指標「働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている市民の割合54.5%以上」に対し、不妊治療・妊婦歯科治療・新生児聴覚検査・おたふくかぜ予防接種の助成により一體的な支援を行うことで、安心して妊娠・出産できる支援体制の充実を図ることができた。
4	地域づくり連携推進事業	環境	WE DO KYOTO!エコアクション事業	市民や事業者が主体的に温室効果ガスの排出抑制の取り組み、ゼロカーボンシティの実現を目指すため、環境フォーラム等のイベントや地球温暖化対策に資する事業に対して補助を実施した。	1,140	568	・環境フォーラム開催（令和6年11月30日） ・城陽環境パートナーシップ会議活動支援補助金1件 ・住宅窓断熱改修補助金8件 ・エコ・アクション・ポイント79,005pt付与	成果指標「市全体のCO ₂ 排出量293千t-CO ₂ 以下」に対し、市民や事業者が温室効果ガスの排出抑制に主体的に取り組めるよう、エコ・アクション・ポイントや住宅窓断熱改修補助を実施し、地球温暖化に関する意識向上を図ることができた。
5	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	五里五里の里の幸×観光ブランディング事業	意欲ある農業者への支援により特産物のブランディング化を図った。 また、ブランディング化した特産物をイベント等でPRすることにより、観光振興、地域振興を図った。	2,059	1,028	・良質米生産支援事業費補助金1件 ・茶品評会報償費9件 ・農業生産組織育成対策事業費補助金2件 ・苗木購入事業費補助金6件	成果指標「観光入込客数R元：979,309人→R8：989,000人」に対し、本市に足を運んでもらうきっかけづくりとして、特産物の生産拡大に取り組む農業者を支援し、特産物のさらなるブランド化を図ることができた。
6	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	防災資機材整備事業	避難所等に生活物資の備蓄や防災資機材の整備を進めることにより、住民が安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図った。	4,034	2,016	・簡易トイレバック ・防災備蓄用飲料水 ・避難所用毛布 ・液体ミルク ・アルファ化米 ・避難所用発電機 ・イージーアップメント 等購入	成果指標「重点備蓄品の備蓄100%（R8）」に対し、生活物資の備蓄や防災資機材の整備を図ることができた。
7	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	子どもの安心安全確保事業	防犯意識の高いまちとして子どもの安心安全な生活を確保するため、幹線道路への防犯カメラ設置及び地域ぐるみの見守り活動に対する補助等を行った。	3,189	1,594	・防犯カメラ設置1箇所 ・防犯カメラ設置補助金1件 ・学校・地域連携推進事業費補助金5件	成果指標「生活の安全が守られていると感じている市民の割合77.7%以上」に対し、防犯カメラを設置するとともに、地域の子どもに対するながら見守りを実施することができた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
8	地域づくり連携推進事業	子育て支援	子どもたちのココロの居場所づくり事業	不登校児童・生徒の居場所づくりや教室復帰のきっかけづくりとして、学校以外での様々な環境で生徒の居場所づくりを進めるとともに、スクールカウンセラー等を配置し、多角的なアプローチで不登校対策を実施した。	12,200	6,099	・ふれあい教室（適応指導教室）開設 日数203日 ・スクールカウンセラー等配置7人	成果指標「不登校児童数の割合（小学校 0.30％）（中学校 2.30％）」に対し、ふれあい教室事業の実施やスクールカウンセラー等を配置することにより、児童・生徒の居場所づくりや教室復帰へのきっかけづくりを実施することができた。
9	地域づくり連携推進事業	子育て支援	地域で育む親しみ公園整備事業	地域との協議の場を設け、公園の整備箇所・内容を決定し、地域のニーズに沿った公園整備を行った。	3,878	1,939	・公園整備8箇所	成果指標「働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている市民の割合54.5％以上」に対し、地域に親しまれ、子育て世代がベビーカー等でも訪れやすい、地域のニーズに沿った公園づくりを実施することができた。
10	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	部活動等外部講師配置事業	本市の小中学校における部活動等について、生徒の実技指導及び助言を行う外部講師を配置することにより、部活動の充実を図るとともに、教員の負担軽減により授業や授業準備に集中できる環境を整備した。 また、部活動の地域移行を見据え、部活動地域移行検討会を実施した。	1,550	775	・外部講師配置17人	成果指標「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合85.0％以上」に対し、専門知識を有する外部講師を配置し、部活動の充実を図ることができた。
11	地域づくり連携推進事業	環境先進地	公害調査・監視事業	新名神高速道路の全線開通や近隣へのアウトレットモールの開業等のまちづくりが進むなか、交通量の増加や渋滞による排気ガスの増加など、市内の環境の変化が予想されることから、排ガス調査や騒音調査等を実施し、環境変化を経年的に確認・把握することにより、生活環境の保全や公害対策に活用した。	8,932	2,814	・大気測定22箇所 ・騒音・振動測定11箇所 ・水質測定22箇所 等実施	成果指標「水や緑などの自然環境に満足している市民の割合77.9％以上」に対し、新名神高速道路の全線開通等のまちづくりを見据え、開通前から公害調査を実施し、まちづくりの環境変化を的確にとらえることができた。
12	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	WE LOVE！SANGA！事業	京都サンガF.C.のホームタウンとして、スポーツ文化の醸成を図るため、ホームゲーム開催日に応援バスツアー等を実施した。	4,561	2,279	・ユースグラウンド使用支援11件 ・市民交流会（令和6年12月14日） ・サンガ応援バスツアー21回	成果指標「京都サンガF.C.のホームタウンであることを認識している市民の割合76.4％以上」に対し、地域に密着したスポーツチームである京都サンガF.C.を通じてスポーツによる地域振興を実施し、京都サンガF.C.のホームタウンであることをPRすることができた。
13	地域づくり連携推進事業	環境先進地	給食生ごみ再資源化事業	学校給食センターにおいて、調理過程で発生する生ごみ等を、再資源化処理により家畜飼料化することで、食品廃棄物を減らし、ごみの排出量を抑制するとともに、限りある資源の有効活用を図った。	2,742	1,371	・再資源化処理59,370kg	成果指標「燃やすごみ及び燃やさないごみの合計量18,577 t（R8）」に対し、生ごみ等の再資源化処理によりごみの排出量抑制を図ることができた。
14	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業		道路台帳管理システム導入事業	紙媒体の道路台帳をデジタル化し、道路台帳管理システムを導入することにより、台帳と調書の一体的管理や業務効率化を図った。 また、道路台帳補正更新作業をデジタル化し、経費削減を図った。	26,697	7,473	・道路台帳デジタル化 ・道路台帳管理システム導入	成果指標「総延長約290km、路線数1,244本の道路情報のデジタル図面、調書（R6）」に対し、道路台帳管理システムを導入することにより、台帳と調書の一体的管理や業務効率化を図ることができた。 また、道路台帳補正更新作業をデジタル化し、経費削減を図ることができた。